

七月の常會徹底事項

「強く明るく——眞夏の決戦生活へ」

決戦の夏に寸刻のゆるみがあつてはなりません。先づそろつて早起きで時間を活用し、元氣一ぱいで眞夏の決戦生活に邁進しませう。

一、「食糧や飼料の増産を」

すべての作物はこれからの手入れが何より肝心です。飼料をつくるのもこの夏が一番大事な時です。
イ、田の中耕や草取りをたんねんに行ひ、またいもち、うんか、螟虫などの病害虫は早く見つけて徹底的に防除すること。
ロ、草刈りを勵行して飼料や堆肥をうんみつくること。
ハ、宅地や空閑地利用のヒマ、蔬菜などの手入れも充分行ふこと。

二、「空襲の備へをしっかりと」

空襲は夜中や明け方に行はれることが多い。その場合でもあわてぬ用意が必要です。今後は警戒警報が出たら時局防空必携にあることは必ずやらねばならぬことは勿論、その外特に
イ、寝る前には空襲管制の用意を行ひ、防空服装、非常袋などを枕元に置くこと。
ロ、朝食は前の晩につくつて置くこと。
ハ、夜明ごろには必ず起きて警戒すること。

三、「傳染病の豫防を眞剣に」

健全な身體がすべてのもとです。最近發疹チフスや腸チフスがはやつてゐます。恐ろしい傳染病を豫防させよう。
イ、發疹チフスは虱からうつります。着物や下着などは熱湯に二、三十分漬け、また蒲團などは度々日光にさらして、徹底的に虱退治をやること。
ロ、腸スチフはなま物やなま水の飲食からかゝります。夏場は出来るだけなま物を食べぬやうにし、また新鮮な野菜や果物なども充分に水洗ひして食べること。
ハ、強い身體は傳染病もつけけません。早起きで乾布摩擦や冷水摩擦、體操を行ひ、食べ物はよく噛み、また徒歩を勵行するなごふだんの生活のなかで夏の鍛錬を行ふこと。

四、「決戦生活を明るく」

一億すべてが戦友です。乏しき物資の生活をお互にゆつり合ひ、助け合つてこそ明るい決戦生活が生れます。
イ、食糧やそのほかすべての物資は何れも天地の恵であることを心に銘じ、一日一日を感謝の心で生活すること。
ロ、食べ物も着るものも、そのもつてゐる力を一杯に使ふやう工夫すること。

六月十五日ヨリ

「二億六千萬圓決戦貯蓄強調」

運動開始さる

七月十四日(農村方面は八月十五日)迄

昭和十九年度全國の國民貯蓄増加目標額は三百六十億圓であり、奈良縣の目標額は二億六千萬圓である。

この目標を遂げに突破してこそ、戦後の經濟戦にも敵米英に勝ち得るのであつて、縣民各自が有るだけの知識を絞り出して勤勞と節約に勤み、誓つて二億六千萬圓目標を達成せねばならない貯蓄は經濟戰の運命を握るだけであらう、家の資産を造る源ともなるのだから、これ位やり甲斐のある事はない。

今回の強調運動實施期間には縣民各自が左の事柄を是非行はう

1、我が家の「總目標額」は何圓
「地域貯蓄組合の目標額」は何圓
「國債・國債貯金・債券の隣保消化目標額」は何圓
「其の他一般貯蓄目標額」は何圓

2、此の期間は毎年貯蓄の多く出来る時期であるから、一般貯蓄も月平均額よりもつうと増して何圓するか目標額を各人で立てること。

3、必要以上の手持現金は全部預金すること
多額の現金を手持することは意味のないことである。空襲等の非常事態が発生した場合でも容易に預金の引出が出来るとし又同じ様な事情で失つた國債等も再交付される事になつてゐるのだから、その方の心配は要らないわけである。

4、職域に汗出す縣民はお互に勵まし合つてその職域全體の貯蓄目標額を縣の標準より遙かに突破出来る様、獨身者等で餘裕のある人、或は平素から収入の多いやうな人は進んで他人の分まで引受け、三割も四割も目標額の引上げに努力すること。さうでなければ、家庭の事情等でも貯蓄の出来ない人もあるから、その職域全體としての目標額が標準には達しないこととなる。

5、賞與は縣より示された標準以上國債・債券を買ふこと、又は國債貯金を爲すこと。

6、内職、副業の勵みこそ家庭婦人決戦下に於ける務めの一つである。かうして生み出した貯蓄が本當に値打があるのだから、特に市街地の婦人はうんと精出すこと。

7、婚葬、葬儀及年中行事等で戦時生活に適しない舊慣はこの際改めること。

8、農産物代金殊に兎角等閉になりがちな蔬菜類の代金も繰て農業會の振替拂を勵行すること。
9、全縣下兵器貯蓄を實行すること。
この金は將來献納されるものではなく、却て家産ともなることを充分に理解し、自分の爲に、自分の子孫の爲に貯蓄することが同時に此の大消耗戰に献金した事と同じ働きをするものであることを併せ理解し、實行すること。

燃料節約 コンロ改造法

このコンロ改造法による、普通の焚き方にくらべて薪が三分の一程度に節約されることが出来ます。以下その改造の仕方や焚き方の解説であります。

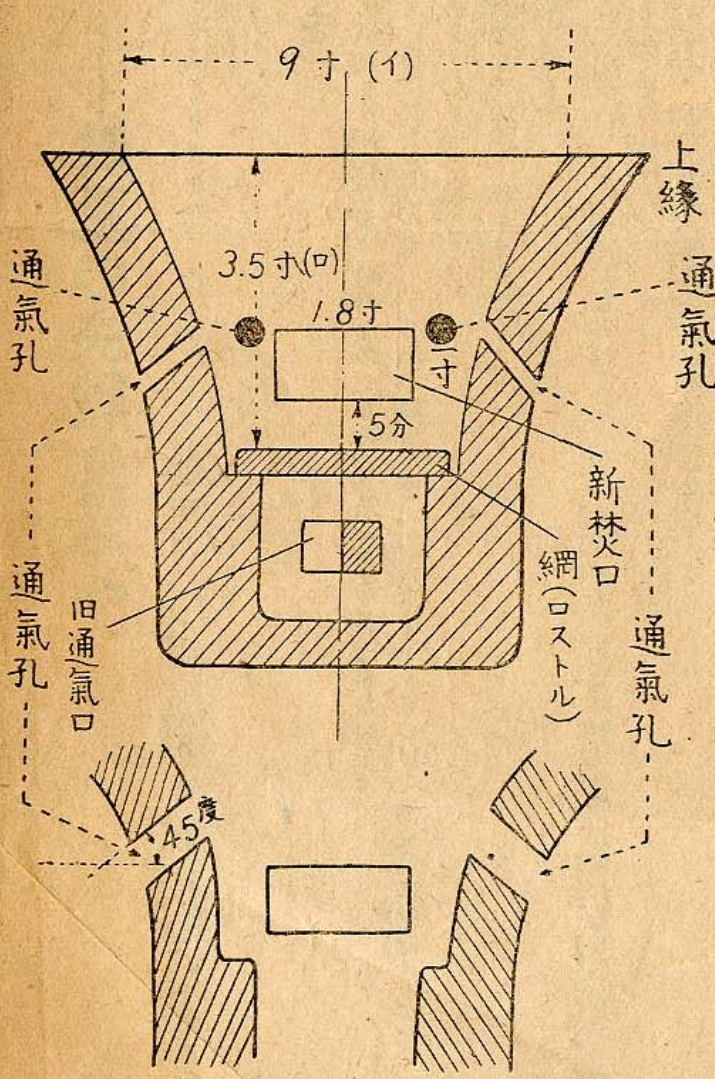
1、改造の仕方(圖面を参照のこと)
イ、焚き口をつくる、先づ圖のやうに焚き口をつくり、口をあけるときは始めに錐で口の大きさを切りこんで置き、その中央に穴をあけモクネツのやうなもので靜にくり扱きます。通氣孔をつくる、次にコンロの周りに、焚き口の上縁の高さのところへ大體同じ間隔をおいて通氣孔をつくり、コンロの内側において上向き四十五度になるやうにあげます。

10、疎開によつて奈良縣に移つて来た者は奈良縣の隣組貯金、奈良縣の職場の貯金、奈良縣の業者の貯金規約に従ふこと。
11、學校の生徒、児童は貯蓄に関する書方、圖畫等を作成し見易き場所に貼ること。
12、土地、建物等を賣つて臨時に収入のあつた時は速に國債購入、長期預金にすること。

ハ、元の通氣口の扱ひ方、コンロの下部にある元の通氣口はそのまゝにして置、使用の際は常に開けて置きます。
2、焚き方、
イ、薪は必ず所要の太さに割つてよく乾燥させた物を用ひます。薪の太さは五分角ぐらゐが適當です。
ハ、薪は同時に二本づつ、一分ぐらゐ離して水平にならべて入れ、煙は出来るだけ出さない様にしなければいけません。燃へ終つたら他の薪をつぎます。燃へてゐる間に餘り煙が出る様でしたら薪を手前に引きますと出なくなります。
ニ、御飯を炊く場合の水が減少はガスや蒸しカマドのまきと同じ位とし、火は釜の中の水が全くなり焦げつく一歩手前まで焚きつけます。但しふき出した後は火力を幾分弱めます

一升の御飯が三十分か四十分で炊き上ります。委しきことは婦人會が翼賛會の方へ御問合せ下さい。

切 断 面 圖



イ示を合場のロソコ型小は例本
(様同も法寸文本)尺曲て凡は法寸
す

1 備
2 考